

平成26年度事業状況報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

■平成26年度事業状況報告	1頁
■平成26年度貸借対照表	7頁
■平成26年度理事会及び評議員会開催状況	8頁

■平成26年度事業状況報告

当財団の目的は、「民族学・文化人類学等の振興を図るため、関係諸機関と連携しその普及に努める。それらの活動を通して人類の多様な社会や文化に対する市民の理解と教養を培い、社会の発展に寄与する。」と定められ、その目的を達成するための各種事業を推進するとともに、現代社会の諸問題を解く鍵として、文化人類学・民族学の視点を活かし、国立民族学博物館をはじめ各種研究機関と連携し、文化振興や次世代育成等さまざまな社会貢献活動に取り組んでいる。

1.民族学・文化人類学等普及事業

一般市民を対象に、民族学・文化人類学の普及のため、国内唯一の民族学・文化人類学の研究センターである国立民族学博物館の協力のもと、学術情報をわかりやすく提供する各種事業を企画・実施した。

- 1) 「梅棹忠夫アーカイブズ資料の整理及びそれに基づく基礎データの整備」を協力した。
- 2) 民族学・文化人類学の研究促進・普及を目的とした図書の企画として、家庭学術雑誌の機関誌『季刊民族学』4号(148号～151号)を編集、発行した。
 - 148号：特集「復興への道3」(2014年4月25日発行)
 - 149号：特集「女神」(2014年7月25日発行)
 - 150号：特集「民博の礎」(2014年10月25日発行)
 - 151号：主な記事「グリーンランド」(2015年1月25日発行)
- 3) 民族学・文化人類学の普及を目的とした各種講演会・セミナー等を企画・運営した。

① 友の会講演会(会場：国立民族学博物館)

- 第430回 「中国最大の少数民族、チワン(壮)族の現在」【新中国地域の文化展示関連】
4月5日 講師：塚田誠之 参加人数：35名
- 第431回 「漢族はなぜ家族を大切にするのか？」【新中国地域の文化展示関連】
5月3日 講師：韓敏 参加人数：37名
- 第432回 「多みんぞくの街・新大久保とハラールフード産業」【新日本の文化展示関連】
6月7日 講師：菅瀬晶子 参加人数：37名
- 第433回 「ウチナンチューと教育」【新日本の文化展示「沖縄の暮らし」関連】
7月5日 講師：日高真吾、呉屋淳子(機関研究員) 参加人数：36名
- 第434回 「植民地期に海を渡った日本の食」【新朝鮮半島の文化展示関連】
8月2日 講師：朝倉敏夫 参加人数：33名
- 第435回 「極北の孤島グリーンランドにおける気候変動と文化の変遷」【企画展関連】
9月6日 講師：岸上伸啓 参加人数：45名

- 第 436 回 「アート(美術)と人類学のあいだ——特別展『イメージの力』によせて」
【特別展「イメージのカー——国立民族学博物館コレクションにさぐる」関連】
10月4日 講師：吉田憲司 参加人数：43名
- ※研究フォーラム 「学校芸能の現在（いま）」／研究公演 「りんけんバンド みんなく公演」
11月1日 担当教員：日高真吾 研究公演参加者数：67名
- 第 437 回 「ナラ林文化を再考する」
12月6日 講師：佐々木史郎 参加人数：38名
- 第 438 回 「グローバル時代の『知的生産の技術』——フォーラム型博情館の可能性」
1月10日 講師：久保正敏 参加人数：35名
- 第 439 回 「都市の婚礼、山村の婚礼——ネパール社会の現在（いま）を結婚式に探る」
2月7日 講師：南 真木人 参加人数：27名
- 第 440 回 「いま、焼畑を考える——自然破壊か、それとも共生か」
3月7日 講師：池谷和信 参加人数：36名
- ② その他講演会（会場：東京 モンベル渋谷店 5F サロン）
- 第 109 回 「梅棹忠夫のモンゴル調査をたどる」
6月28日 講師：小長谷有紀 参加人数：52名
- 第 110 回 「多みんぞくの街・新大久保とハラールフード産業」【新日本の文化展示関連】
10月19日 講師：菅瀬晶子 参加人数：28名
- ③ みんなく見学会（協力：国立民族学博物館）
- 第 52 回 中国地域の文化展示
4月5日 講師：塚田誠之 参加人数：33名
- 第 53 回 日本の文化展示「沖縄のくらし」
7月5日 講師：日高真吾、呉屋淳子（機関研究員） 参加人数 33名
- 第 54 回 朝鮮半島の文化展示
8月2日 講師：朝倉敏夫 参加人数：33名
- 第 55 回 企画展「未知なる大地——グリーンランドの自然と文化」
9月6日 講師：岸上伸啓 参加人数：41名
- 第 56 回 特別展「イメージのカー——国立民族学博物館コレクションにさぐる」
10月4日 講師：吉田憲司 参加人数：41名
- 第 57 回 日本の文化展示「日々のくらし」
3月7日 講師：池谷和信 参加人数：36名

④ 体験セミナー

第 68 回 「くすりの民族学（見学編）」4 月 17 日～18 日（奈良県）

講師：小山修三（名誉教授／千里文化財団理事長） 参加者数：22 名

製菓や和漢菓の歴史と製造、くすりにまつわる神事への参加をとおして、ヒトの自然利用の在り方を考察した。

第 69 回 「『織り』からたどる手仕事の現場（国内編）」11 月 20 日～21 日（群馬県）

講師：吉本 忍（名誉教授） 参加者数：14 名

今なお暮らしのなかで営まれている機織りの現場を訪問し、手仕事の重要性、人と自然の向き合い方を考察した。

⑤ 民族学研修の旅

第 84 回 「梅棹忠夫のモンゴル調査をたどる旅——中国内モンゴルの草原と史跡をゆく」

9 月 8 日～14 日（中国内モンゴル自治区）講師：小長谷有紀 参加者数：22 名

初代館長梅棹忠夫のモンゴル調査の足跡をたどるとともに、遊牧を営む人びとの生活文化について理解を深める企画として実施。

第 85 回 「手仕事への回帰——カンボジア、東北タイの機織りの現場をめぐる」

2015 年 2 月 1 日～9 日（カンボジア他）講師：吉本忍（名誉教授） 参加者数：18 名

今なお暮らしのなかで営まれている機織りの現場を訪問し、手仕事の重要性、人と自然の向き合い方を考察した。

2. 国立民族学博物館利用促進事業

国立民族学博物館の利用促進を目的として、一般市民を対象にした各種協力事業を実施した。

1) 国立民族学博物館の展示理解向上及び普及のための教材制作及び頒布事業

① 国立民族学博物館 本館展示の『展示ガイド』（7 月 10 日第 2 版発行）の編集協力を受託し実施した。

② 国立民族学博物館 特別展及び企画展の解説書の編集・制作及び頒布
国立民族学博物館の展示理解向上及び普及のための教材制作及び頒布事業

③ ミュージアムショップの運営：

国立民族学博物館の映像資料の複製発行及び頒布、レプリカ・ポストカード、記念品等の制作及び頒布、現地産民族資料及び民族学・文化人類学関連図書の頒布をおこなった。

平成 26 年度教材頒布の内容：

レプリカ、ポストカード類

内容) 砂金の分銅、館銘石、儀礼用マント、ポストカード（156 種）

現地産民族資料（約 100 カ国）

内容) 芸能・儀礼資料(仮面、楽器他)、生活資料(衣類、嗜好品、装飾品他)
民族学・文化人類学関連図書・映像音響資料

内容) 図書約 4,000 種、民族音楽等の CD・DVD 約 50 種
記念品（オリジナル・グッズ）、便宜共用品

内容) クリアファイル、一筆箋、Tシャツ、レターセット、スタンプ、
トートバッグ、切手、雨傘、乾電池他

平成 26 年度の主な作業：

消費税改正に伴う POS システム等の入れ替え、オンライン・ショップを
リニューアル、店舗商品レイアウトリニューアル、季節商品の検討と仕入、
特別展オリジナルグッズの検討・制作

④ 国立民族学博物館オリジナルカレンダーの制作・発行及び頒布

特別展展示資料をモチーフにしたオリジナルカレンダーを制作し、全国の書店へ
の販売、及び巡回展候補文化施設への広報を目的に配付した。

2) 国立民族学博物館の普及事業

① 「国立民族学博物館友の会」の運営、及び会員の増強

「国立民族学博物館友の会」は国立民族学博物館と市民の間のかげはしとなる
役目を担い、講演会などの催しものや出版物などとおして、民博のさまざまな活動や研究
成果を紹介した。平成 26 年度は、創設 40 周年記念事業として、友の会機関誌
『季刊民族学』を創刊号より全号、館内の無料ゾーンにて展示した。

② 国立民族学博物館広報誌『月刊みんぱく』の編集協力・制作及び編集事務を受託し
実施した。

③ 国立民族学博物館創設 40 周年記念 カレッジシアター「地球探究紀行」（主催：産経新聞）
の開催協力をおこなった。（会場：あべのハルカス近鉄本店ウィング館）

3) 国立民族学博物館来館者の学習支援事業

① 南アジア展示・東南アジア展示新構築に係るグラフィックパネル製作のための校閲・
校正等業務を受託し実施した。

② 「展示解説シート 南アジア・東南アジア」、英文「展示解説シート 東アジア 日本の文化・
朝鮮半島の文化・中国地域の文化」の編集協力を受託し実施した。

③ 展示案内学習支援等業務を受託し実施した。

④ 研究資料整理・情報化及び利用管理業務を受託し実施した。

⑤ 民族学資料共同利用窓口業務を受託し実施した。

⑥ 関連催し物の開催支援各種業務を受託し実施した。

4) 国立民族学博物館活動に協力する事業

国立民族学博物館特別展及び企画展に対する協力として各種広報活動を実施した。

① 特別展「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」

開催期間：国立新美術館 2/19(水)～6/9(月)、国立民族学博物館 9/11(木)～12/9(火)

② 企画展「未知なる大地 グリーンランドの自然と文化」

開催期間：9/4(木)～11/18(火)

③ 国立民族学博物館から、『災害と文化財 —ある文化財科学者の視点から』（平成27年

2月27日発行）の編集協力を受託・実施するとともに、当財団で発行し販売した。

3. 博物館活動支援及び調査研究事業

博物館に集積された知的財産を活用するプログラムを企画し、そのあり方を調査研究するとともに博物館活動を支援した。

1) 博物館に集積された資料と情報の活用方法及び博物館等の連携のあり方に関する調査をおこなった。

① 出前授業プログラム開発及び普及

8/30(土) 久御山町立御牧小学校 対象：1～3年生、保護者

(参加人数：40名) テーマ：ブーメラン

10/18(土) 相楽台ほっぷ広場(放課後教室) 木津川市立小学校

対象：1～4年生、保護者(参加人数：40名) テーマ：ブーメラン

10/25(土) 伊丹市 鴻池センター婦人部 対象：大人

(参加人数：25名) テーマ：風呂敷

② 各地の博物館等の施設を活用する巡回展

国内唯一の文化人類学・民族学の研究センターである国立民族学博物館等の協力のもと、学術的な研究に基づいて資料を展示する巡回展覧会を開催し、世界の文化を正確に理解する機会を提供するとともに、日本における国際理解と国際交流を促進するとともに、国立民族学博物館及び万博記念公園の広報をおこなった。

巡回展を下記のとおり開催した。

名称：高知県立歴史民俗資料館 夏季企画展

「マンダラーチベット・ネパールの仏たち」

会期：平成26年6月28日(土)～平成26年7月31日(木) 34日間

場所： 高知県立歴史民俗資料館企画展示室

展示点数： 50点（うち国立民族学博物館収蔵資料点数41点）

主催： 高知県立歴史民俗資料館〈公益財団法人高知県文化財団〉、
国立民族学博物館、千里文化財団

観覧者数： 総計： 3,146名

関連企画： 講演会「マンダラとは何か」 7月5日（土） 14:00～16:00

講師： 立川武蔵（国立民族学博物館名誉教授）

会場： 高知県立歴史民俗資料館 参加者数： 160名

展示室トーク 7月19日（土） 14:00～15:00

講師： 曾我満子（高知県立歴史民俗資料館学芸員）

参加者数： 62名

2) 博物館運営や展示のあり方に関する調査研究

指定管理者制度における博物館運営に関する調査、巡回展のための什器に関する調査、博物館におけるミュージアム・ショップの役割に関する調査をおこなった。

3) 各地の博物館展示案内等の編集業務

日本生命財団より、千葉県立中央博物館展示案内『豊饒の房総』（平成27年3月1日発行）の編集協力を受託し実施した。

4.地域活性化、文化振興協力事業

多様な文化の振興をめざし、各種文化活動に協力した。

- 1) 松下幸之助記念財団から、第23回「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務を受託し実施した。
- 2) 「日本展示学会」の事務業務を受託し実施した。
- 3) 同人雑誌『千里眼』の編集を受託し、第126号～第129号の4号を発行した。
- 4) 大阪府から、季刊誌『森発見』第34号～第37号の編集・制作業務を受託し実施した。
- 5) 日本生命財団から『地域包括ケアの実践と展望 ―先進的地域の取り組みから学ぶ』（平成26年12月8日発行）の企画業務を受託し実施した。

■平成26年度貸借対照表

平成27年3月31日 現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部	円	円	円
1. 流動資産			
(1) 現金預金	9,465,157	7,365,871	2,099,286
(2) 未収入金	21,911,486	18,429,964	3,481,522
(3) 貯蔵品	47,676,878	51,218,792	△ 3,541,914
流動資産合計	79,053,521	77,014,627	2,038,894
2. 固定資産			
基本財産			
(1) 基本財産特定資産	25,500,000	25,500,000	0
基本財産合計	25,500,000	25,500,000	0
その他の固定資産			
(1) 設備造作	0	116,795	△ 116,795
(2) 車輛	344,356	448,034	△ 103,678
(3) 什器備品	211,327	174,637	36,690
(4) 電話加入権	594,951	594,951	0
(5) ソフトウェア	2	20,630	△ 20,628
(6) 差入保証金	1,100,000	1,100,000	0
その他の固定資産合計	2,250,636	2,455,047	△ 204,411
固定資産合計	27,750,636	27,955,047	△ 204,411
資産合計	106,804,157	104,969,674	1,834,483

科目	金額		
II 負債の部	円	円	円
1. 流動負債			
(1) 未払金	100,808,655	93,978,382	6,830,273
(2) 前受金	0	515,500	△ 515,500
(3) 預り金	265,766	269,996	△ 4,230
流動負債合計	101,074,421	94,763,878	6,310,543
負債合計	101,074,421	94,763,878	6,310,543
III 正味財産の部			
正味財産	5,729,736	10,205,796	△ 4,476,060
負債及び正味財産合計	106,804,157	104,969,674	1,834,483

■平成 26 年度理事会及び評議員会の開催状況

理事会

第 6 回理事会（5 月 26 日）での審議事項等

- 審議事項 第 1 号議案：平成 25 年度事業状況報告について
- 第 2 号議案：平成 25 年度収支決算報告について
- 第 3 号議案：第 4 回評議員会の招集及び付議議案について
- 報告事項 評議員の辞任について
- 友の会会員制度について

第 7 回理事会（6 月 4 日）での審議事項 ※決議の省略

- 審議事項 評議員の辞任に伴う候補者の推薦について

第 8 回理事会（7 月 22 日）での審議事項 ※決議の省略

- 審議事項 顧問の選任について

第 9 回理事会（10 月 27 日）での審議事項等

- 審議事項 第 1 号議案：平成 26 年度上半期実施事業報告について
- 第 2 号議案：平成 26 年度下半期追加事業報告について
- 報告事項 理事候補者の選任方法について

第 10 回理事会（12 月 24 日）での審議事項 ※決議の省略

- 審議事項 一般財団法人千里文化財団役員選考委員会の設置、及び役員選考委員会規程(案)について

第 11 回理事会（平成 27 年 2 月 13 日）での審議事項 ※決議の省略

- 審議事項 一般財団法人千里文化財団役員選考委員会委員候補者、及び一般財団法人千里文化財団役員選考委員会の開催について

第 12 回理事会（平成 27 年 3 月 3 日）での審議事項等

- 審議事項 第 1 号議案：平成 27 年度事業計画(案)について
- 第 2 号議案：平成 27 年度収支予算(案)について
- 第 3 号議案：第 5 回評議員会の招集及び付議議案について
- 追加議案 事務局長の辞任に伴う選任について
- 報告事項 2 月 24 日開催の役員選考委員会の報告
- 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の一部改正について

評議員会

第4回評議員会（6月16日）での審議事項等

- 報告事項 第6・7回理事会の審議事項等について
- 審議事項 第1号議案：平成25年度事業状況報告について
- 第2号議案：平成25年度収支決算報告について
- 第3号議案：評議員の辞任に伴う補欠選任について

第5回 評議員会（平成27年3月25日）での審議事項等

- 報告事項 第8回～第12回理事会の審議事項等について
- 審議事項 第1号議案：平成27年度事業計画(案)について
- 第2号議案：平成27年度収支予算(案)について
- 第3号議案：役員等の報酬に関する「定款」及び「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の一部改正について